

山河

第47号

一般社団法人
神奈川県森林土木建設業協会



第47号
平成30年5月23日
(社)神奈川県森林土木建設業協会

編集／総務委員会・事務局
制作／(株)日本工業経済新聞社

生コンクリート・砂利・砂生産販売

二葉建設株式会社

足柄上郡山北町山北3090-4
山北工場 TEL 0465(75)0611
生コン部 TEL 0464(75)0738
本社 TEL 0550(82)2088

NIHON KIZAI

建設機械・機材・販売、修理、レンタル
NIK 日本機材株式会社

・本社
〒250-0863 小田原市飯泉 941-11
TEL (0465)48-2221 FAX (0465)48-2782
・秦野営業所
〒257-0015 秦野市平沢 727-1
TEL (0463)82-3355 FAX (0463)82-2282

建設機械・リース・販売・修理・レンタカー

 株式会社 サトे

山北本社 (0465)76-3415(代)
御殿場営業所 (0550)89-8115(代)
中井営業所 (0465)81-5151(代)
厚木営業所 (0463)90-3415(代)

雨水を通り、土砂を留める鋼製土留柵

土留メッシュ

- パネル背面に支柱を設置し、前面はスッキリした外観
- 材料が軽く、現場への搬入が容易。レキ質土でも設置が可能
- 土工事が少なく、設置・解しやすい。カーブ施工も容易

 静和建設株式会社
神奈川県足柄上郡山北町山北2885
TEL (0465)76-3420 FAX (0465)76-3529

小型から大型まで、お客様のニーズにお応えします。



小田原生コン株式会社

日本工業規格適合認証工場
神奈川県生コンクリート工業組合員

高強度コンクリート大臣認定取得(39N~60N)
神奈川県西部生コン協同組合員

〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡 341 TEL 0465-36-1204 FAX 0465-36-1208

自然との調和がテーマです

箱根セントラル生コン株式会社

〒250-0631
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1141
TEL 0460-84-7722 FAX 0460-84-8698
業務直通 0460-84-0220



P.C. CONCRETE WORK'S CO.,LTD.
コンクリート二次製品・バリアフリー製品

本社: 〒252-0101
(城山工場) 神奈川県相模原市緑区町屋4-29-25
TEL: 042-782-2331
FAX: 042-782-2573
三ヶ木工場: 〒252-0159
神奈川県相模原市緑区三ヶ木1776-2
TEL: 042-784-1028
FAX: 042-784-1062

ヤマヨセメント株式会社

代表取締役 杉野 敬一郎

〒250-0863 神奈川県小田原市飯泉1401
TEL (0465)47-3798 FAX (0465)48-7661

企画力と価格に自信!
**ホームページ
会社案内制作**

総合広告代理店
株式会社コンパス

詳しくは TEL.046-250-1005 厚木市森の里青山14-1
<http://www.e-compass.ne.jp/>

- 各種印刷・デザイン
パンフレット、チラシ
- ホームページ制作
PC・携帯用サイト
- 看板制作
看板、横断幕
- 映像制作
会社PR、製品紹介
- オリジナルTシャツ

森林の保全 整備促進へ

(一社)神奈川県森林土木建設業協会会長 大野治雄



皆様には、日頃より私ども神奈川県森林土木建設業協会に格別のご理解、ご支援賜り厚く御礼申し上げます。私ども「神奈川県森林土木建設業協会」は、森林土木工事に携わる者を会員として、森林土木事業の推進等を通じて、かながわの豊かな森林の保全・整備の促進と地域社会の振興発展に寄与することをめざして活動しています。

この森林土木事業は、森林・林地の災害を復旧・予防する治山事業や、森林の循環利用に欠かせない林道事業からなり、近年、局地的な豪雨等による土砂災害の発生が増加傾向にあります。自然災害は多様化してきており、気象災害リスク等への対策として、昨年末、政府は災害復旧、防災・減災対策費

この谷止工の数百m下流には集落があり、万が一、土砂が谷止工を越流すれば、人的、物的被害が発生しかねない状態で、次の豪雨による災害のリスクを考慮すると予断を許さない状況でした。

現場へのアプローチは、狭小で急勾配の資材搬入路が一本あるだけで、極端に条件が悪い中、迅速にできる対策として考えられるのは、次の豪雨に備えて、いかに谷止工裏の土砂を捕捉するポケットを設けるかということでした。

しかし、土石流を抑えてくれた谷止工（有効高10m）が、重機の搬入にネックとなり、手古摺ることになりました。なんとか、クレーンで小型バックホウを谷止工の上部にあげて、放水路から土砂をシート方式で下部に落とし、搬出を開始しました。



として、1兆2千億円の建設国債を柱とする2兆7千億円の補正予算を閣議決定し、インフラ整備を緊急推進することとしました。

河川や道路整備等とともに、九州北部豪雨で甚大な被害をもたらした流木対策もこの中に含まれており、林野庁においても、今年度から概ね3年間で、流木捕捉式治山ダムの設置等の流木対策がスタートします。崩壊土砂流出危険地区等の緊急点検を踏まえ、緊急的・集中的に流木対策が必要な全国約1200地区において実施するものでタイミング一な対策と期待されています。

また昨年末、森林・林業界の長年の悲願であった森林吸収源対策の財源確保についても、平成30年度税制改正大綱において、森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）を創設することが決定されました。税の課税は平成36年度から、譲与は平成31年度から行うこととされています。

現在、日本の森林は過去に例を見ない程、資源が豊富であります。また、活用方法も多様化しています。上質な木材は在来木造建築に使用され、量も伸びております。C-L-T等の新製品と技術

開発により集合住宅や非住宅建築の高層化が促進され普及しております。非常に大量の木材の使用により発生した端材は、木質バイオマス発電、それに伴う余熱利用（ハウス栽培や暖房など）で地域活性化の推進が図られています。その他マテリアル利用としてセルロースナノファイバー、研究開発が進んでいるリグニンなど、大変高価な素材も注目され期待されています。勿論本来の森林力であるCO₂削減、酸素供給や水資源の涵養、緑の癒し効果など森林について考えたらきりがない程、森林は、無限の可能性に満ちあふれています。

こうした中で、われわれ森林土木建設業協会員としては、よりよい森林づくりの為に、いかなる努力も惜しみません。森林に関わるあらゆる人々の知恵と汗を結集し、着実に森林土木事業を実施していくことが必要であります。工事の施工に関する技術の改善・向上、労働安全や緑化推進等の普及・啓発とともに、行政との連携を図りながら森林パトロール等の協定活動にも積極的に取り組んでまいります。

今後とも、森林土木事業をしっかりと支えながら、地域の安全・安心を守るという使命に応えられるよう、会員一丸となり取り組んでまいります。引き続き皆様方のご理解、ご支援をお願いいたします。

ある森林土木担当の感想

県央地域県政総合センター 森林土木課 久富寛之

しかし、息つく間もなく、八月三十日の夜間に発生した豪雨による二度目の土石流で、谷止工背面で作業していたバックホウ一台と特装運搬車一台が土砂で埋没してしまいました。

人的被害は無かつたものの、翌日に、掘り出した重機は、残念ながら、何か、故障してしまいました。それからは、作業終了時には、重機を、より高い場所に避難するということを徹底しました。

その後、延々と土砂の搬出を行いましたが、O-N立米の小型バックホウでは、大量の土砂を「耳かき」で出しているようなもので、作業効率が非常に悪く、次の土石流がいつ発生するかわからない状況もあり、なんとしてもより大きなバックホウを上げる必要がありました。

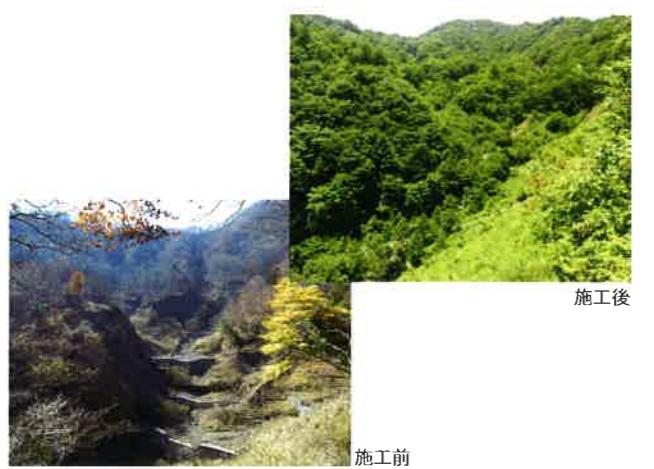
悩んでいると、施工業者の社長から、谷止工の右岸側に盛土と大型土のうを設置すれば、重機を自走であげることが可能との提案がありました。さすがに、「現場感覚」は、歴年の場数を踏んだ経験からのものだと感心しました。

その後、進入路を完成させ、休むことなく、不安定土砂を延々と搬出し、なんとか、当面の安全を確保することが出来ました。この業者は貴協会の会員で、治山工事の施工実績があり、地元に精通していました。この業者は貴協会の会員で、協会員の技術力、対応力を認識いたしました。

また、ある現場では建設の仕事を始めた1年余りの若い方がいました。親方

現在、担当した工事の業者さんは、そこの斜面をよじ登るにも、なかなか苦労しておりました。やはり山の工事を、慣れていない町場の業者さんがやるのは大変なようです。

最近は現場がかなり少くなり、入札制度も変わり、昨年は今まで奥地の厳しい現場でお世話になつた優れた業者さんが廃業するということも聞きました。山のため、より良い現場になるよう、技術力の継承と後継者の育成が大事だと思いました。



「山北町山市場の峰ノ沢治山工事について」

県西地域県政総合センター

森林部森林土木課



平成二十九年八月七日、台風五号に起因する線状降水帯によるゲリラ豪雨が流入しました。施工中の土石流対応型谷止工で下流への被害は防ぐことができましたが、一晩の雨による流入土砂で谷止工上部は、満杯となり、現場の様相は一変しました。

開発により集合住宅や非住宅建築の高層化が促進され普及しております。

峰ノ沢治山工事について

高層化が促進され普及しております。

時にについて考える

湘南地域県政総合センター 森林課 水野 忠久

私は、四十年以上治山事業に携わった者として最近特に感じることは、「時」についてです。時といつても時計で計るものではなく、自然現象の再現に関わる時間です。我々の生活に影響を及ぼすものとしては、地震・火山噴火・気象現象等の自然災害です。最近よく耳にすることは、「何年ぶりの現象です」というフレーズです。しかし現実味を持つて理解できるのは、直接話の聞ける祖父母の代までの約100年（人間の寿命）です。一方災害史を見れば、何百年単位での話になります。日本では、古文書として確認できる期間は一一〇〇年程です。その中で最もデータ量が多いものは、富士山の噴火記録だと思います。概略を記述しますと、西暦七八一年以降十六回に渡り記録されています。特に平安時代は度々噴火していましたが、平安時代末期から室町時代にかけての四〇〇年間は落ち着いた状況が続いていたようです。現在は、一七〇七年の宝永の大噴火から三〇〇年程噴火はありません。過去を振り返って推測すれば、今後一〇〇年の間に噴火する可能性は非常に高いと考えられます。社会に及ぼす影響は、宝永噴火と同程度と仮定しても、高度に情報化の進んだ現

代では遙かに影響力が大きいといわれています。また富士山溶岩の性質は、日本では珍しい玄武岩質で動きが非常に速く、マグマの前兆運動が確認されてから噴火までの時間が最短三〇分間程度といわれており、有効な対策をとることが困難なことから、爆発時期によっては御岳や白根山の水蒸気爆発時のような災害を引き起こす可能性が高いと思われます。神奈川県は、偏西風の影響で降灰される火山灰の粒径が細かいため、送電設備のショートによる停電発生が高くなっています。活インフラが壊滅状態になる最も強く長期間（宝永噴火規模で約一年と推定されている）受ける可能性があることです。ですから最悪の状況を受ける覚悟が求められていると思います。別の視点から見ると、一つの火山の寿命は五〇万年から五〇〇万年と言われており、人間の時間に換算すると一年が一万年に相当します。噴火休止期間三〇〇年などは我々個人のタイムスケールでは、一〇日程です。21世紀を生きる我々の子や孫が富士山の大規模な破局的噴火に遭遇することなく、小規模な富士山噴火程度に止まることがあります。

この業務では、林内に光を入れて下層植生を回復するための受光伐、土壤流出を防ぐための簡易工作物の設置、シカの採食を防ぐための植生保護柵の設置等を組み合わせることで、森林土壌の保全を行っています。このエリアは、林道から遠く離れているため木材の搬出は難しく、また伐採木が高齢級の大径木であることから伐採後の林地残材の処理が一つの課題でしたが、現採丸太筋工の材料として、資源の有効活用と土壤流出防止対策との両立ができたのではないかと思います。大径木の加工や運搬には大変な苦労があつたと思いますが、施工者の技術力により、高標高域の土壌保全に努めていきたいと思います。

私は、平成29年度から始まりました高標高域人工林土壌保全対策業務を本年度担当させて頂きました。当課では、県が所有する県有林等の管理を行っていますが、中でも標高の高い地域の人造林では、シカの採食による下層植生の衰退や、地形が急峻であることなど、問題が発生しています。森林には水を蓄えたり、山地の崩壊を防いだり、生物の多様性を保つたりと様々な公益的機能がありますが、森林の土壌はそれらのベースとなる大変重要なものです。

この業務では、林内に光を入れて下層植生を回復するための受光伐、土壤流出を防ぐための簡易工作物の設置、シカの採食を防ぐための植生保護柵の設置等を組み合わせることで、森林土壌の保全を行っています。このエリアにある丹沢県有林内の、新大日周辺の尾根付近で事業を行いました。このエリアは、林道から遠く離れているため木材の搬出は難しく、また伐採木が高齢級の大径木であることから伐採後の林地残材の処理が一つの課題でしたが、現採丸太筋工の材料として、資源の有効活用と土壌流出防止対策との両立ができたのではないかと思います。大径木の加工や運搬には大変な苦労があつたと思いますが、施工者の技術力により、高標高域の土壌保全に努めていきたいと思います。

高標・高域人工林土壌保全対策業務について

自然環境保全部県有林整備課 伊藤瑛悟

県営林道災害協定 細部の事前説明会開催 各支部と出先機関の締結へ



当協会はこれまでに、神奈川県（黒岩祐治知事）と県営林道の災害応急対策業務協定を締結しています。県営林道で地震・風水害・その他の災害が発生した時に、林道を管理する出先機関の要請によって、迅速で的確な応急対策を実施するとともに県営林道利用者らの安全性と利便性を確保しようというものです。これを踏まえて各支部では万全な体制を整えると同時に、細かい内容が盛り込まれた協定を県の出先機関と改めて締結することとなり、昨年12月に事前の打ち合わせ説明会が開かれました。

県から環境農政局森林再生課基盤整備グループの牧三晴リーダーを始め、出先機関の職員が、また協会からは大野会長を始め各支部の理事が出席し、双方の意見を交換しました。



平成三十年二月九日金曜日に当協会の主催で、「林道でなくてく」を開催しました。この林道でなくてくは、県民の方と一緒に林道を歩きながら、林道の役割や治山事業の効果や必要性について認識してもらうとともに、森林・林業の重要性をPRすることを目的にしたウォーキングイベントです。平成二十一年から開催し、今回で十回目を迎えました。

今回のコースは、松田町「寄」バス停から秦野峠林道通り、やどりき水源林へ。さらに三廻部林道から寄ロウバイ園までの約七・五キロメートルです。登山するほど体力に自信がないけれど自然の中を歩きたい方や、ひとりで歩くのは不安なので案内してもらいたい方にぴったりのコースです。

開催一週間前に、どつさり積もった雪と、連日の寒波の影響が心配されましたが、当日は天候に恵まれ、残雪もわずか。山の中でも歩いていると体がぽかぽかしてきました。

鳥のさえずりが聞こえる中、かながわ森林インストラクター講師の方に、自然観察を交えつつ、山の荒廃は関東大震災まで遡ることや、神奈川県が取り組

んでいる「水源の森林づくり事業」についても説明をしていただきました。参加者の方からは「とても楽しかった」「完走ならぬ完歩できてよかったです」などの感想をいただきました。

もうすぐ咲きそうなミツマタ、真っ青な空に映える黄色いロウバイを見ると春がもうそこまで来ていると感じる「林道でなくてく」でした。

今後とも、協会の事業目的である県民の方への普及啓発活動を進めていくたいと思っています。

さて、私事ですが、昨年の四月から森林協会勤務となりました。どうぞよろしくお願い致します。

神奈川県森林協会 非常勤職員 岡田真由子



第54回総会 会員のメリット実現に期待 新会長に大野氏(大野建設)

当協会は昨年5月25日、箱根湯本の旅館「吉池」で第54回総会を開催し、決算報告などを承認するとともに、新会長に大野治雄氏(大野建設)を選出しました。

山本会長はあいさつの中で、「会員にとってメリットのある協会を目指して活動してきた」と前置きし、「一般社団法人化や県との災害協定締結などで地道筋が開けてきた。今後は各支部が各地区県政センターと災害協定を締結すること、インセンティブ獲得の見通しとなつた。私の永年の望みが実現する運びとなつたことを機会に、次にバトンタッチしたい」と会員のこれまでの協力に感謝しました。同会長は在任中、創立50周年を記念して写真コンクールを開催したり、自民党農林部会長の小泉進次郎衆議院議員としてお招きし意欲的な活動を展開しました。

総会はこの後、来賓としてお招きした神奈川県森林協会の野口高専務理事と全国森林土木建設業協会の竹中三成事務局長が壇上に立ち、それぞれの立場で協会を激励してくださいました。

議事では、平成28年度事業と決算が可決された後、任期満了に伴う役員の改選に移り、各支部から推薦された理事の互選で、新会長に大野治雄氏の就任が決まりました。大野新会長は「前会長が立派な道筋を作つてくれたので、理事、役員、会員の皆さんとの協力で、事業計画に沿つて諒々と進めた」と力強く抱負を語りました。新年度は、各支部との技術研修や意見交換、会員拡大活動、災害防止活動などを行います。いのち貢献度指名競争入札に当協会会員が指名されるなど、会員としてのメリットが感じられる団体になる活動の展開が期待されます。

新役員は次の通り。(敬称略)

- ▽会長=大野治雄(大野建設)
- ▽副会長=勝俣昭彦(箱根建設)、田代房雄(静和建設)
- ▽理事=柏木聰(三恵工業)、鈴木泰二(鈴木土建工業)、湯川国広(湯川組)、
保徳彦(勝俣組)
- ▽理事=渡邊徹(渡辺組工業)、勝房雄(静和建設)
- ▽理事=河原正洋(朝倉三博工業)、中峯昌治(三和建設)、朝倉三博(静和建設)、立柳正徳(東海林工)

川久保暉勇(川久保組)、落合康弘(落合組)、落合正広(清川建設)、高崎久幸(高崎建設)、小山和男(小山設備)、監事=上村利昌(上村興業)、磯部春男(磯部組)
△相談役=山本国孝(山本組)、山本善一(山善)

森林土木技術者らが研修会 県環境農政局技術職員を招き 神奈川県森林協会主催

会となりました。

主なテーマは次の通り。

- ・型枠材の人肩運搬費・アスファルト補修箇所点在の場合の費用・交互交通不能の狭隘道路における車両転回所並びに資材ヤード整備、厳寒期施工の凍結防止剤、防凍剤、シート養生の費用・厳寒期の緑化工事発注・高額資材調査・碎石の小型車両運搬割増・かご枠に用いる詰栗石の測定の簡素化・レディーミクストコンクリートのチェック体制

当協会は昨年12月21日、秦野商工會議所に県環境農政局と当協会の技術者による技術研修会を開催しました。(写真)

これは県の森林土木事業を円滑に進めようと、神奈川県森林協会が毎年開催してくださっているもの。行政側から県環境農政局森林再生課基盤整備グループの牧三晴グループブリーダーを始め幹部技術者と、県央・県西・自然環境保全など各地域センター森林土木関係の技術者ら6人が、また業界側からは当建協の大野治雄会長を始め、各支部の理事と現場代理人ら合わせ40人が参加致しました。

森林協会の野口高専務理事の司会で進められた研修会は、受注各社の現場代理人から提出された検討課題を基に、県の技術者が答える形で進められました。発・受注双方の理解を深めるのに役立つ研修会で進められました。



一般土木との格差解消などを要望

神奈川県森林土木建設業協会

当協会は昨年、神奈川県森林土木建設業協会としての考え方を林野庁に伝達して頂くよう次のとおり要望しました。

森林土木事業の重要性PR

近年、各地で台風やゲリラ豪雨の発生で、山崩れ・土石流・地滑りなどの山地災害により住宅や学校、道路等の公共施設の被害が多発しています。一刻も早い復旧が求められるのは当然ですが、あらかじめ土石流が懸念される個所の整備が重要であります。

被害を受ける前に治山ダム(堰堤)を造るなど、山林の手入れに関する国民の理解を得るよう努力する必要があります。山崩れなどの山地災害から住民の生命・財産を守ることの重要性を広くPRする活動に繋げて頂きたいと思います。

森林土木工事は、山間僻地の厳しい環境での作業が少くありません。にもかかわらず、単価、歩掛り等が実



(一社)全国森林土木建設業協会
(一社)神奈川県森林土木建設業協会

際の収支と合わせ、施工業者は採算面で苦慮している状況であります。市街地の一般土木とほぼ同様の工事内容と比較しても、その差は歴然としています。

農林省と国土交通省の積算基準の差に光を当て、改善の方向を模索して頂きました。

受賞者は次のとおり。(敬称略)
伊東和敏(勝俣組)、内藤正洋(健伸工業)、中峯昌治(三和建設)、朝倉三博(静和建設)、立柳正徳(東海林工)



記念撮影する優良現場代理人

優良技術者らを表彰



通常総会に先立つて優良現場代理人の表彰式を行いました。これが県環境農政局で高い評価の工事を仕上げた技術者を表彰するものです。「山間僻地の困難な現場で施工管理、技術管理に努力し、優秀な成績を上げたことは他の模範と認められる。その功績を称える」として、山本会長から表彰状が贈られました。

また、森林土木の災害協定締結団体についてのインセンティブ発注や、道路パトロール委託などについても、一般土木建設団体と同様の水準で執行して頂けるよう、支援願います。

また、森林土木の災害協定締結団体についてのインセンティブ発注や、道路パトロール委託などについても、一般土木建設団体と同様の水準で執行して頂けるよう、支援願います。

和留沢林道

(株)下田組 杉山木紀



本工事は、南足柄市と小田原市を結ぶ和留沢林道を生石灰にて路床改良して、AS舗装工にする工事でした。先ず現場への資材搬入経路となる碎石舗装の林道を試走すると、台風後の影響も重なつてとても大型車が通行できるレベルではなく6・5kmを碎石を補足して整正し、雨が降れば雨カツパをきてスコップで水切りをして安全な経路の確保を行いました。

今まで人里離れた林道に携わる工事を多くさせて頂きましたが、今回の工事では南足柄市の標高200m程の村落の最上部に位置する林道の改良工事といふことで、この林道に隣接する民家が3軒あり、要望事項が3軒とも違っていましたので、その解決が大きなポイントとなりました。

Aさん宅は、この林道を生活道路として毎日車を利用して頂いていますので、掘削、改良、路盤工の3工程をAさん宅入り口部分の20mを1日で施工し、AS舗装日は車を施工区以外にて駐車して貰うことで、工事に関わるリスクを軽減しました。

森林土木について思う事

健伸工業(株) 内藤正洋

Bさん宅は、雨天時林道横断側溝部からの排水が畠及び自宅敷地内に入ることで新たに排水溝を設置して川に排水することになりました。

Cさん宅は、降雨量が多い時には林道本線より自宅敷地内に個人で設置した側溝を越えて雨水が浸入してくるということで、林道本線自体の計画高、縦横断勾配を変更し、路側には小型擁壁を作成、大雨に對しての対策を施しました。また全線縦断勾配(U型側溝が基準高)が不具合な高さに設置された為、測量をかけ、側溝の嵩上げをしてスムーズな走行が出来るよう縦断勾配を設定しました。

このような準備工を経て、本工事はウレームもなく、工程通りに無事故で終了でき、森林土木課の皆様には迅速且つ熱心で的確な対応をして頂き感謝致します。

このような準備工を経て、本工事はウレームもなく、工程通りに無事故で終了でき、森林土木課の皆様には迅速且つ熱心で的確な対応をして頂き感謝致します。

山に木が育ち、根を張り、土砂の崩壊を防ぐ、「酸化炭素を吸収し空気の浄化をする。水源の確保、動植物の生息等、人々の生活には欠かせない役割を持つ森林」。

しかし昨今の異常気象による大災害は増え、確実に森林は荒れています。人の癒やしと健康の為のセラピードームを造るのも、又、災害により崩れた山を復旧し生活の安全を確保するのも、全て森林土木に関わる仕事。

山に木が育ち、根を張り、土砂の崩壊を防ぐ、「酸化炭素を吸収し空気の浄化をする。水源の確保、動植物の生息等、人々の生活には欠かせない役割を持つ森林」。

ではと思います。予防、復旧と森林に人の手を加え、自然のサイクルが發揮される自然災害に対応仕切れなく成るのでは?」と言つ危機感すら感じます。

私は、やり甲斐の有るこの仕事に携わる一技術者として、今後も技術を磨き、後輩達にしっかりと継承して行きたいと思います。



山市場治山工事

(有)酒匂土木 山崎誠一

本工事は近年の豪雨により崩落した山腹の復旧工事で緊急予防治山事業でした。工事着手時は、一時的な対応として倒木の伐採や丸太柵等が施されており、雑草等が繁茂していた状況でした。工事箇所は県道より200m位なのですが、近接に住居、耕作地、墓所など、当該地区的環境に直接的に影響のある場所で、施工に当たり地権者様をはじめ近隣住民様の、ご理解ご協力を頂き現場を着工致しました。当初設計では、コンクリート土留工を3基施工する予定でしたが、配置箇所の掘削を行ったところ想定よりかなり厚い層のスコリア(火山灰)層が堆積しており、支持地盤の耐力不足が考えられため、監督員に報告し協議することになりました。その結果、最下段部に「コンクリート土留、山腹には鋼製土留柵の配置に変更設計となりました。

しかしながら、自立しなく崩落し易い、比重が軽く水に流れやすいといった特性のあるスコリア層は、その後の施工においても大いに苦戦致しましたが、監督員と立会・協議を実施し迅速な対応にて指示・回答を頂きまして、工事を無事故・無事・回答を頂きまして、工事を無事故・無事・回答を頂きました。



着工前



完成

4月初めより始まり5月になる頃、蛭が大量発生し道路脇の草むらを歩くとウヨウヨで出てきました。都会で30℃

早戸川林道工事

平井工業(株) 松原 鑑

本工事を振り返り、地権者様、近隣住民の皆様の御協力を頂き、無事に進捗することが出来たことに改めて感謝致します。今後も地元企業として地域に密着し、貢献して行きたいと思います。

本工事は早戸川林道で台風により地滑りが起きた現場です。

道路は舗装されていますが、毎朝落石(多分、鹿が法面を歩いて石が落ちる)があり、同じ場所の石拾いを行います。一度、気付かずにパンクしました。法面整形工事がほぼ出来上がった時に、法面上部に黒い生き物が現れて熊かと思ったらカモシカでした。法面上部を生き物が移動すればおのずと落石が起きるのは当たり前に思いました。

工事の事前調査の為に現場に向かったところ、いつもの場所で大きな落石があり電柱が破損していました。それからその場所を通行する時は、踏切を通る時のように手前で一日停止し、窓を開けて落石の音が無いか確認し、路面をぼうきで掃除をして通行するようになります。仕事終わりにその場所を通ると朝と同じなので、毎晩から朝にその法面上部を生き物が通り落石が起きるようです。

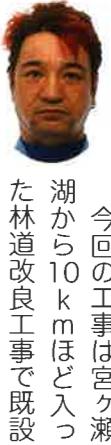


完成

を終える猛暑でも、早戸川は清流が流れ日陰は涼しい場所ですが、そこに蛭の巣がある。作業員3人が被害に遭いました。

現場では携帯電話がつながらず、現場から車で15分宮ヶ瀬ダムの虹の大橋が見える所でつながります。皆さんも携帯電話のつながらない世界へどうぞ!

(株)清川建設 新立真一



今回の工事は宮ヶ瀬湖から10kmほど入った林道改良工事で既設法面保護のため、モルタル吹付工、特殊モルタル吹付工、落石防止網工の工事でした。

伐採作業完了後に斜面を確認したところ、オーバハンジしている箇所が多数あつたため、人力での切崩し作業が必要になり、林道上に土砂を落とすしかありませんでした。法面下の林道は、登山者や渓流釣人の通る道であり、作業に入る前に安全面についてかなり注意しなければなりません。そこで発注者と協議し林道出入口に工事予告看板、関係者に回覧、起終点に誘導員の配置、現場内には監視員を常駐させて細心の注意を図らいました。その結果、無



事故で完了することが出来ました。
発注関係者の方々に深く感謝いたします。

神奈川県森林土木建設業協会ホームページをご覧ください

当協会のホームページが開設されています。協会の活動やお知らせなどが分かりやすく編集されています。お気軽にアクセスしてください。

神奈川の森林を愛する技術集団

一般社団法人神奈川県森林土木建設業協会会員名簿(60社)

上支部	東栄建設(株)	下支部	大野土建(株)
(有)池谷建設	東海林工(株)	(株)秋山組	(株)落合組
(有)井澤組	(株)内藤建設	(有)石川建設	(株)菊地原建設工業
石井建設(株)	(株)永田組	(株)勝俣組	(株)清川建設
(株)磯部組	(有)野木建設	(株)川久保組	(株)小島組
今泉建設(株)	(株)深瀬組	三和建設(株)	(有)小島建設
(株)荻野工業	(株)松永組	湘山開発(株)	(有)小山設備
(株)加藤組	宮嶋建設(株)	箱根建設(株)	佐藤建設(株)
(株)加藤工務店	(有)敷田組	(有)丸要建設	鈴木土建(株)
金子建設(株)	(株)山崎組	譲原建設(株)	(有)芹沢土建
健伸工業(株)	(株)湯川組		高崎建設(株)
(有)酒匂土木			平井工業(株)
中支部	県央支部		
三恵総業(株)	(株)朝倉建設	(株)星建設	
(株)下田組	上村興業(株)	安西興業(株)	(株)山善
(株)鈴木土建工業	(株)興栄建設	大野建設(株)	(株)山本組
静和建設(株)	(株)坂本組		
(株)滝本土建	(株)杉山土建		
(株)田代組	(株)渡辺組工業		

〒252-0155 神奈川県相模原市緑区鳥屋2878
(一社)神奈川県森林土木建設業協会
担当事務局:滝澤庸子 TEL:042-785-0511
携帯:080-1287-4477 FAX:042-785-0512
sdkanagawa@kbf.biglobe.ne.jp
<http://kanagawa-shinrin.com/>

当協会は昨年12月21日、秦野商工会議所に林野庁の森林土木専門官を講師にお招きし、「森林・林業の再生を支える森林土木事業」をテーマに研修会を開催しました。森林に対する期待が近年、災害防止、温暖化対策、水資源の涵養、木材の供給など、多面的・公益的機能の面から注目されていることから、改めて勉強しようというもの。

講師は、林野庁整備課森林土木専門官の林茂氏。林専門官は、国産木材の安定供給やそのシステムを支える路網整備、災害対策工事を行う森林土木事業が、林業の成長と山村地域の発展、安心・安全な国土の形成などにとって不可欠であることを強調。受注工事を単に義務として施工するのではなく、地域に貢献する重要な役割りを意識し、高い自負を持って施工してほしい」とアピールしま

した。

会場には協会員のほか、県環境農政局の技術職員らも聴講に訪れ、パワーポイントを駆使して説明する講師の話を熱心に聞いていました。



林野庁専門官を招き講習会
森林土木事業の重要性を勉強